

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を
紹介します。 問合せ 農林水産課



③③ 山口県柳井市



▶平成29年8月31日、
井原健太郎 柳井市長
(右)と協定を締結

柳井市の特産品



ひじき



バラ



うめぼし



鯛一夜干し



金魚ちょうちん



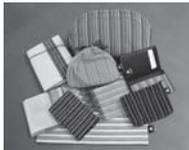
橘香酢



ぶどう



自然薯



柳井織

- 面積：140.05km²
- 人口：32,106人・15,739世帯（平成30年8月31日現在）
- 市の花：ツツジ、サルビア ●市の木：やなぎ、モクセイ

柳井市は、昭和29年3月31日に、玖阿郡柳井町、日積村、新庄村、余田村、伊陸村が合併し、市制施行し、その後、平成17年2月に玖阿郡大島町と合併し、現在の市域となりました。一部地域が瀬戸内海国立公園に指定されるなど自然景観に恵まれており、江戸時代の商家の家並みが続く古市、金屋地区の白壁の町並みは、昭和59年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

また、自然薯の人工栽培発祥の地でもあり、自然薯を使ったそうめん、うどん、カレー、ドーナツ、プリンなど多くの加工品が作られています。その他、昔ながらの特殊な製法で作られる甘露醤油、伝統織物の柳井織、郷土民芸品の金魚ちょうちんなどの特産品があります。8月に開催される柳井金魚ちょうちん祭り前後には、白壁の町並みの軒先に飾られた金魚ちょうちんに灯りがともり、幻想的な雰囲気を楽しむことができます。

これらの優れた地域資源は、柳井市地域ブランド「きんさい柳井」として認証され、柳井市の豊かさや魅力の象徴として全国に情報発信されています。

柳井市は、柳井で暮らす幸せを実感できるまちを目指して「市民の力で支え合い、一人ひとりが主役の笑顔あふれるまち柳井」に向けまちづくりを進められています。



- 面積：553.18km²
- 人口：38,707人・13,794世帯（平成30年8月31日現在）
- 市の花：さくら ●市の木：いちよう

雲南市は、島根県の東部に位置し、平成16年11月1日に、大原郡大東町、加茂町、木次町、飯石郡三刀屋町、掛合町、吉田村の6町村が合併し、現在の雲南市となりました。雲南市は、仁多郡奥出雲町と飯石郡飯南町の1市2町が「奥出雲産直振興推進協議会」として経済連携「地産都商」に取り組まれている経緯があることから、雲南広域連合との特産品相互取扱協定締結となりました。

雲南市は、古くから「たたら製鉄の里」として知られ、また、「米の食味ランキング」で平成26・29年度に最高ランクの特Aを獲得した「たたら焔（ほむら）米」が特産品として有名で、奥出雲町の「仁多米こしひかり」、飯南町の「飯南米こしひかり」とともに出雲国うんなんのブランド米となっています。

さらに、たまごの一大産地として平成23年度より「うんなんたまごプロジェクト」を立ち上げ、プリンやB1グルメとしてオムライスなどのたまごを使った食のプロジェクトを推進しています。

雲南市は、「生命（いのち）と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を目指して「課題先進地」から「課題解決先進地」へ向けた取り組みを進めています。



③④ 島根県雲南市 (雲南広域連合)



▶平成29年10月4日、
速水雄一 雲南市長(右)
と協定を締結

雲南市の特産品



りんご



お米



奥出雲和牛カレー



お茶



まいたけ



蕎麦



地酒



しめ縄



木次乳業